

日時	令和 7 年 1 0 月 2 9 日（水） 午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 0 0 分
場所	旭川市総合庁舎 7 階大会議室 C
出席者	委員 7 人 小松委員、椎名委員、杉山委員、田古嶋委員、谷委員、福屋委員、 山本委員（5 0 音順） 事務局 4 人 片岡部長、松山次長、牛田補佐、朝日主査
傍聴者	なし
資料	資料 14-2 課題解決検討シート（学生の市民参加）第 3 回会議まとめ 資料 15 第 11 期意見書（案） 資料 16 第 11 期意見書（案）ブラッシュアップシート
議事	
1 開会	・委員の 7 人が出席したため、条例第 19 条の規定により会議の成立を報告。
2 議題	
(1)託児費用補助について	・事務局から資料 14-2 に基づき説明があった。 （会長）前回内容について、報告を受けたが意見や質問等はないか。 （委員）なし
(2)第 11 期意見書(案)について	・事務局から資料 15、16 に基づき説明があった。 ・以下のとおり各委員から意見、感想があった。 【資料 1 5 意見書（案） 1 ～ 6 ページについて】 （各委員） ・改めて振り返るとたくさん話し合いをしてきたことを感じる。わかりやすくまとまっていると思う。 ・ 2 ページ「公募委員の充実」で、令和 2 年度に公募委員の応募条件を緩和したとあるが、具体的な緩和内容を記載することで、より興味を引く内容になる。 ・ 2 ページ「託児費用補助」について、資料には初年度の実績のみ記載されているが、今年度の実績は記載できないか。託児が必要な時に、この制度を利用し、信頼できる託児施設に子どもを預けることができた良い事例がある。周知を続けた結果、2 年目は一定の効果が見られ、補助制度はやはり必要だという展開にした方がよい。

- ・ 2 ページに、この意見書の全体を要約した内容である説明を加えると読みやすい。「(第 1 章で提言)」といった表記を避け、付番することで次の章と連動し、構成がより明確になる。
- ・ 「はじめに」から「おわりに」まで章立てする方法も検討してはどうか。
- ・ 3 ページの図 2 内に記載された文字をより見やすくなるよう太く、大きくした方がよい。
- ・ 3 ページにアンケート結果のみを掲載しているが、どのようなアンケートを実施したかを示す画像などを添付したほうがよい。アンケートの実施内容を提示することで、その結果への流れが明確で具体的に伝えることができる。
- ・ 5 ページの「エ. デジタルサイネージ」で使用している「訴求力」を「参加意欲」に変更する方が自然である。
- ・ 6 ページの見出しで使用している「口コミ」は口語的で、ここでは不適切だと思う。年齢が高い方を含め、万人に伝わるように「委員の声を届ける」という表現にしてはどうか。ただし、「口コミ」という表現は市民感覚を反映し、親しみやすい印象を持つため、意見書内の適切な箇所には残した方がよい。

【資料 1 5 意見書（案） 7 ～ 9 ページについて】
（各委員）

- ・ 7 ページ（1）について、保育園や幼稚園などが補助対象外であることの経緯や理由を記載した方がよい。
- ・ 7 ページ（2）の最初の 3 行を後半に移動させる。先に助成金額に対する課題を述べ、助成が必要であることを明確にした上で、将来的には市役所内での託児の提供やオンライン参加の可能性を言及する方が効果的。市役所内の託児提供と、オンライン参加は性質が全く異なるため、並列に記載すると違和感があったが、費用補助の現行制度と将来像を明確に区分することで、これを解消できる。
- ・ 8 ページ（1）の最終段落に、将来を見据えた表現を盛り込んではどうか。今後の旭川市として、企業と学生双方にとって就職活動のプラスになればいいと会議内で意見があったと思う。
- ・ 8 ページ（2）内にある「経験→関心→意欲→登録」の「登録」を「行動」に変更。これに伴い、すぐ後ろにある「学生の活発な行動」は「行動」が重複するため、表現を変更してはどうか。

（会長）

市民参加推進会議の以前の意見書は分厚く、内容もパターン化していた時期があったが、数期前から方向転換し、市民が委員として参加し、市政を

	良くする取り組みへと進化してきた。今回の意見書は、読みやすさやテーマの分かりやすさがあり、完成度の高いものとなっている。昔、意見書が市政にどのように活かされているか委員内で懐疑的な声があったが、当時の事務局から「意見書は必ず読むべき重要なもの」「可能な限りこの意見書の内容を取り込んでいくべきもの」と認識されていることを聞き、委員のやりがいにつながった経験がある。今後、意見書が市政にどのように反映されているかを検証する取り組みをし、市民参加推進会議としての成果を「見える化」できると、さらなるやりがいにつながるのではないかと感じる。 今回の意見書は、委員の皆さんの努力によって完成したものであり、感謝する。
3 閉会	・会長の進行により、閉会。